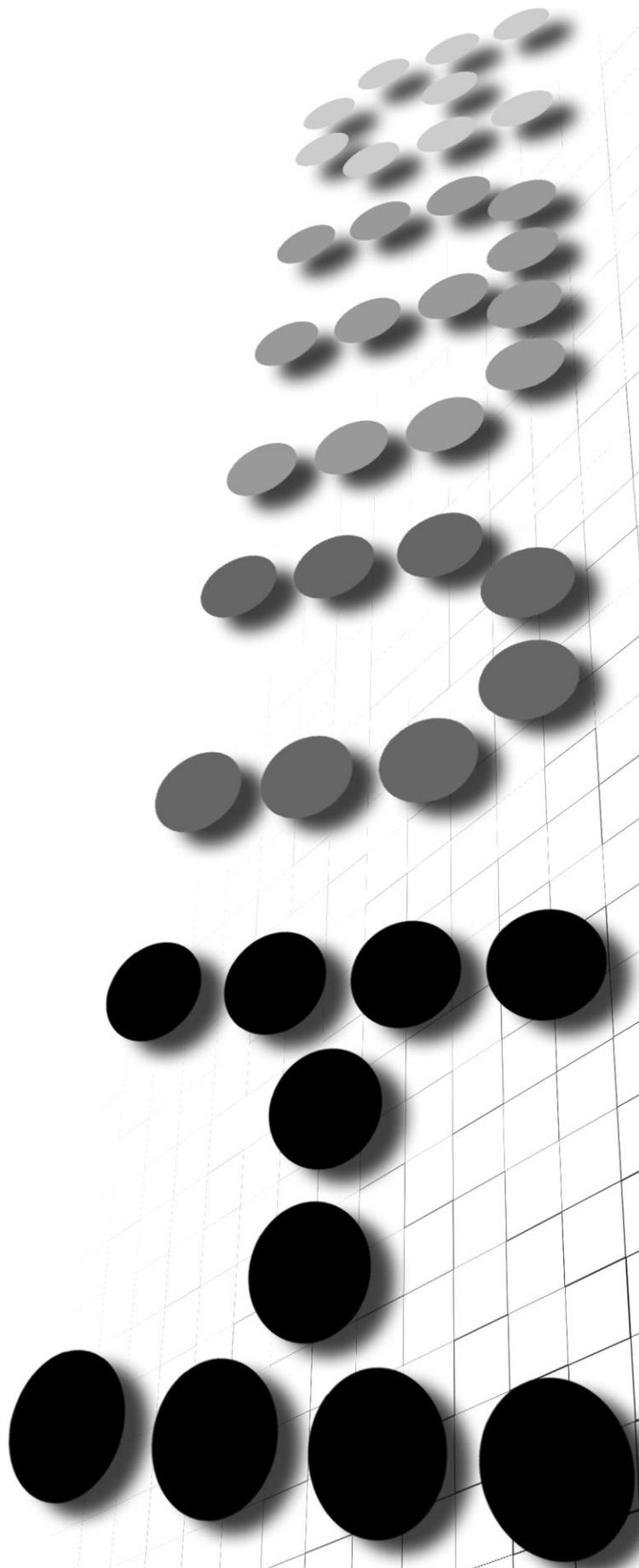


山スキ一春香 10'



登ってる間は、ほんとうにつらくて苦しくて
「もうイヤだ。2度と登るものか」と思います。

でもね、時間がたつと苦しかったことのほうを鮮明に思い出すようになる。
それもひどい思い出じゃなくて、素晴らしい思い出として。
だからこそ、人はまた山に登るのです。

美輪明宏



山スキープロジェクトリーダー

◆冬山の心得◆

◆山スキーでは山と一体となり冬山を遊び尽くせます。山スキーをする上で熟知しておかなければならないのが冬山の恐ろしさです。歩く会で行く山は比較的難度の低い所だとされていますが、生半可な気持ちで冬の雪山に入ってしまうと、怪我はもちろん、最悪の場合、命を落としかねません。つい最近にも北海道で恐ろしい事故が起こってしまいました。そとで、実際に冬山ではどういう危険性があるのか、一般的な知識としていくつか紹介したいと思います◆

●雪崩【なだれ】

雪崩は冬山で一番死亡率が高いであろう災害です。雪崩に巻き込まれると全く身動きがとれず、15分も経てばそのまま呼吸できずに逝ってしまうでしょう。これを少しでも回避するために、歩く会では滑る直前に「弱層テスト」という雪崩の危険度を判断する方法を用います。また、ピーコンやゾンデを使った埋没者の捜索、発見の訓練や雪崩のメカニズムについてもあらかじめ「0段階」や「パラヒュ勉強会」で学習することになるでしょう。

●凍傷・低体温症【とうしょう・ていたいおんしょう】

凍傷とは外気の寒さや雪の肌への長時間の接触によって皮膚や筋肉を凍結し壊死してしまうことを指します。また、低体温症というのは低温な外気の中にずっと晒されることで、体温が通常よりも著しく低下してしまうことを指します。また、凍った食べ物を食べても低体温症の危険に晒されます。凍傷も低体温症も防寒と汗拭きには十分気を配りましょう。雪の上に寝っ転がっていると上の人に怒られるので注意が必要です。体を冷やさないように気をつけましょう。

●捻挫・骨折【ねんざ・こっせつ】

山スキーで捻挫や骨折をした山スキーヤーは大抵その一年の冬を棒に振ってしまうことになるでしょう。山スキーはこける競技とも言われ、いかに上手くこけるか(受け身を取り、山側にこける)がとっても重要です。関係無いですが筆者は高校時代柔道の授業で、受け身に失敗し脳震盪を起こしています。こけるのが楽しくなってくれば、貴方も立派な峰山'スキーヤー。

思わず身構えてしまいそうな事ばかり書きましたが、これらは最低限冬山へ突入する時に心得ておかなければならないという事で、後は楽しい事ばかりです。まずは楽しみましょう◆

山スキーの仕組みと日程

冬山には夏よりも多くの危険が伴うため、前もって知識・技術・体力を身につけておく必要があります。

そこで、歩く会の山スキーでは**段階制**を採用し、一定の基準を満たさなければ次に進めない仕組みになっています。

12月には救命講習・搬出訓練・パラヒュ勉強会を行い、安全に山スキーを行うための知識を身につけます。必修。

また、夏計画のように直前の例会で参加することができず、計画の審議に出席できることが参加条件となっています。下調べや打ち合わせが1年目にも重要になってきます。上記のようなシビアな面の認識が必要です。

10月

山スキー説明会、募集、装備放出、装備の購入案内

11月

0段階 雪崩や準備運動の仕方など山スキーに必要な基礎知識に関する勉強会と実際の装備を用意して、道具の調整やチェックをします。スキー場が開き次第、いよいよ楽しみな「初すべり」があります。

I段階 スキー場での練習です。これに合格しないと山へは行けません。

滑走技術、登行技術を身につけます。(～1月頃)

12月

救命講習 防災協会の方をお呼びして、心肺蘇生法の講習を受けます 12/4

搬出訓練 山で負傷した人を運ぶことを想定した訓練。遭難対策の勉強も。12/18

パラヒュ勉強会 手稲の山小屋に泊まり、フィールドを想定した雪崩に関する勉強会をします。12/25,26

1月

II段階 スキー場でない冬山に行きます。圧雪されていない深雪での滑りを身につけます。スキー場と違った白銀の世界を楽しめます。

III段階 比較的厳しめの山に行きます。樹林限界を超えた先には2段階とは違った景色が広がります

3月

春休みの山スキー計画が終わり次第、滑り収めとなります。

道具の手入れをしっかりと。

文責 奥田(2)

10

2010

MEMO
・山下キー説明会、募集、装備放出、装備案内

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 体育の日	12	13	14 アナカリス	15	16
17	18	19	20	21 説明会	22	23
24/(31) (装備案内)	25	26	27	28 募集、装備放出	29	30 装備案内

October

12

2010

MEMO
・I段階、II段階
・搬出訓練、ハラヒュ勉強会、救命講習
(II段階以上に進むためにはこの三つは出席必須)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4 (救命講習)
5 (I段階)	6	7	8	9	10	11 (搬出訓練)
12 (I段階)	13	14	15	16	17	18 (ハラヒュ勉強会)
19 (I段階)	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 (I段階)
26 (I段階)	27	28	29	30	31	

December

11

2010

MEMO
・装備案内(12日までに装備を揃える)
・O段階、I段階、初滑り、練習

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3 文化の日	4	5	6 装備案内
7 装備案内	8	9	10	11 ONEZーグラフ	12	13 O段階
14 追加購入	15	16	17	18	19	20 初滑り
21 (初約締)	22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27 (I段階)
28 (練習)	29	30				

November

- ・ 参加する計画の審議と報告には**出席必須**です。火曜は予定を空けておいて下さい。
- ・ 土日は基本的に空けておいて貰いたい。参加が必須な行事で、都合がつかなければなんとかできるかもしれないので、早めの上の人に相談して下さい。
- ・ 「段階制」なので、次のステップへ進むためには何回か計画に参加する必要があります。
- ・ 「見込み合格」といって、次のI段階で受かりそうだったらその次のII段階に名前を置いておくことができます。
- ・ わからないことがあったら早めに聞いて下さい。

装備

山スキーを楽しむための必需品

有る程度理解したうえで購入・使用したいものです

I. スキー板

スキー板選びで始めに気にしておくことは次の3つ。太さ、長さ、そしてデザイン。

イ) 太さ

簡単に説明してしまうと、太いほど山向け、細いほどゲレンデ向け。

太ければ太いほど浮遊感が強くパウダースノーで有利に働くが、逆に圧雪面やアイスバーン状態の斜面には不利である。

ゲレンデで練習し計画で山へ行く歩く会では、中間の位置づけであるセミファット（ウエスト幅 74-85mm）がおすすめ。現在歩く会内の山スキーヤーの9割近くがこれに分類されるスキー板を使用している。

ロ) 長さ

板が細いほど長く、太いほど短いものが適しているといわれているが、極端に細い・太いのでなければ身長+0~15cm が適切である。

ハ) デザイン

お好みでどうぞ。中にはデザインだけで板を選ぶ人もいるとかいないとか…。

II. ビンディング

ビンディングはアルペンスキーと最も異なる部分の一つであり、後ろが固定されておらず、かかとを浮かすことができるような構造になっている。

また、ビンディングにはバネが入っており、かかとを上げるのに必要な力が変わってくる。そこがビンディング選びのポイントとなるだろう。ガンガン滑りたいという人は滑り重視、滑りのために体力を温存しておきたいという人は登り重視がベター。

<参考>

	歩行の軽快性（登り）重視	強い固定感（滑り）重視
Black Diamond	O3,(O1)	O2,(O1)
Rottefella	R4	R8
G3	タルガ、(タルガアッセント)	(タルガアッセント)

※O1、タルガアッセントはつま先が浮き上がる仕組みになっており、根は張るが登り・滑りともに有利。

III. フーツ

ビンディングと同様に、大きくみると滑り重視か登り重視かで分けられる。

自分の好みの滑りに合ったタイプのもの、そして何より自分にフィットするものを選ぶことが重要である。

歩く会向けにはスタンダードもしくはオールラウンドあたりのものがおすすめ。

これらはどんなフィールドでもオールマイティーに使い、上達した後でも使うことができる。

<参考>

登り重視		スカルパ	ガルモント	クリスピー
↑ ↓ 滑り重視	ツアー向け	T4,T3	EXCURSION	
	スタンダード	T2R	EVO	CX-A
	オールラウンド	T2X	SYNER-G,GENESIS	CX-P
	滑り重視	T1	ENER-G	XP-LIGHT
	レース用	T-RACE		X-R

IV. シール

山に登る際にスキー板の裏側に張り付け、後方に滑らないようにするもの。選ぶ基準としては長さ、幅、装着方式など。気持ち大きめの物を買っておくとよい。

値段は張るが、カットや金具の取り付けをしなくて済む既製品も存在する。

イ) 貼り付け式

最近の主流。粘着力を使い板に張り付けるのでずれなくて登りやすい。また、板の形に合わせてカットすることが可能。ただし粘着面に雪が付くと（一時的に）粘着度が著しく落ちるので、扱いには注意が必要。

ロ) 取り付け式

紐で固定するので登っている最中に緩むことがあり、その都度締め直す必要がある。しかし、取り外しや保管など雑に扱っても特に問題なく、シールのつけ外しにかかる時間・労力を節約できる。ただし最近の太い板に対応できるものがなかなかない。

V. ウェア

防水加工がなされていれば基本的には何でもOKで、一般のスキー・ボード用のウェアでも問題ない。登りで汗だくにならないよう薄手の物を買って、寒さ調節はフリースなどのインナーですると快適。またポケットが大きいとシールがしまいやすい。

財布に余裕があれば GORE-TEX のウェアを買うと幸せになれる。

VI. ストック

基本的には何でもOKだが、ストックリングを深雪用のものに付け替える必要がある。
調節式は上級者向け。

VII. ゴーグル

曇り止めレンズのものを。ダブルレンズだとさらに曇りにくくオススメ。
メガネをかけたままでもつけられるゴーグルもあるが、曇りやすい。

VIII. 手袋

手袋はインナーとオーバーミトンの2つに分かれている必要がある。(分解できるタイプ)
手首から雪が入らないような、ひじまである物がオススメ。

IX. 帽子・ネックウォーマー

化繊のものなら何でもOK。

装備についてはこの資料を見るだけでは分からないことも多いと思うので、
その際は気軽に近くの先輩へ。きっとみんな優しく教えてくれるはず！

文責： 

山スキーの装備リスト

	品目	備考
	スキー板	テールにシールを引っ掛ける溝があるか確認。
	ビンディング	板につける。
	ブーツ	厚手の靴下を履いた状態でもきつくないサイズがいい。
	シール	長さ、太さ、粘着力に注意する。
	ストック	
	スキーウェア	ボードウェアでも可。
	流れ止め	板につける。手作りでも可。
	オーバーミトン	取り外し可能なスキーグローブでも可。綿製は不可。
	インナーミトン	
	ゴーグル	ダブルレンズが好ましい。
	帽子	
	ネックウォーマー	
	サブザック	I 段階までに揃える。
	レスキューパック	詳細は別紙。
	コンパス	首から下げられるようにする。ホイッスルは金属製ではなく、プラスチックのものを選ぶ。
	ナイフ	
	ホイッスル	
	マップケース	手作りでも可。
	メタ	I 段階で重要です。
	ライター	
	軍手	

- ・ 0段階で以上のものをチェックする予定なので、揃えて置いてください。
- ・ レスキューパックに関しては別紙を参照。(ホームページから見られます)
- ・ この他にもあるかもしれないので、わかり次第更新します。

レスキューパッカー一覧表

	品目	備考
	針金	
	安全ピン	
	ビニールテープ	ガムテープでも可。
	メタ	
	防水マッチ	
	ライター	
	ろうそく	燃焼時間 15 時間以上のもの。
	針と糸	
	スパッツの替えゴム	
	予備コンパス	
	伝令書	253 にある。
	伝令書の書き方	253 にある。
	細引き	3mm or 4mm × 10m
		5mm or 6mm × 10m
	携帯充電器	上級生は必須。下級生もあった方がいい。
	電池	ヘッドライトと携帯充電器用。
	保険書のコピー	
	常備薬	
	小銭	100 円玉、10 円玉を数枚ずつ。
	非常食	2500kcal 分。調理不要なもの。
	レスキューシート	
	カイロ	
	ビンディングの替えケーブル	RIVA の人は一本。チリの人は左右両方
	スパナ	
	シールのトップの替えゴム	自分の板とシールに合うもの
	三角巾	大きいもの (100 円 Shop のものはなるべく避ける)

・「ビンディングの替えケーブル」、「スパナ」、「シールのトップの替えゴム」の三点は上級生に相談して買う、もしくは貰うようにすること。

・「三角巾」は大きいものを買うこと。100 円 Shop のものは小さいため、なるべく避けること。

0段階

11月13日(予定)

シールを板にあわせて切ったり、ストックの先を大きいものにとりかえたり、ビンディングをブーツにあわせて実際に履いてみたりします。装備チェックもあるのでこの日までにそろえられるものはできるだけそろえておきましょう。買いに行くときには上の年目の山スキーヤーと一緒に行って案内させつつアドバイスをもらえば早くすむし、上も安心できるので誰かに声をかけてみて。自分の道具に親しみを持ち始めて使うのが待ち遠しくなってくる、かも。面倒くさいこともあるけど上の年目と話すいい機会なので今まであまり話さなかった人に手伝いを頼んで交流を楽しむといいんじゃないかな。

みんな、時間どおりに来ようね :P



I 段階

I 段階とは冬山に行くための試験のようなものです。いきなり冬山に行くと危険なのでスキー場で冬山での技術を身に付けます。I 段階はII 段階の土台となるものなので、ここでしっかりと技術を身につける必要があります。ここで「判定」を受けて合格しないと山には行けません。

I 段階で身につける技術は大きく分けて

- ・登りの技術
- ・滑りの技術
- ・冬山技術

の三つです。

・登り

まず初めにみんなで輪になって準備体操をします。I 段階に行く前にしっかりと準備体操を覚えておきましょう。

山スキーでは「シール」という、後滑りを防ぐ道具を板につけて登ります。リフト代はかからないけれど普通に滑っている人たちの横を列になって登っていくので少し恥ずかしいです・・・しかもザックを背負い、重いブーツと板のまま登っていくので慣れるまでとても疲れます。冬なのに汗が出るくらいです。登りでは板を持ちあげずに歩くことやストックを使いこなすことなどコツがあるのですが、詳しくはI 段階で上の人に聞きましょう。登りの技術の中で最大のポイントの一つがジルブレッタターン通称「ジル」ではないでしょうか。これは深雪の斜面を登るときに用いる技術です。



写真のように板を持ち上げて方向転換します。これも詳しくは上の人に教えてもらいましょう。 シールを外してから「階段登行」や「ハノ字登行」などがあります。

・滑り

まず求められるのが「テレマークポジション」通称「テレポジ」を作ることです。



アルペンとは違って、足を前後に開いて滑ります。前後への重心配分が難しくバランスがとりにくいです。テレポジを作るときの重要なポイントは①開いた足の真ん中に乗ること②下腹を前に出し、懐を深く保つこと③背骨を丸めること（らしい）です。まあ実際に見て、やってみた方がよくわかると思います。

滑りの技術の中での最大のポイントの一つが「急制動」です。急制動とはある程度のスピードで滑っている状態から急にテレポジを作って止まる技術です。これには素早い板の操作と一定のテレポジ、ターンの技術が必要です。最終的に急制動ができるように頑張りましょう。

また、転び方と起き上がり方もポイントの一つです。転ぶ時は足から、そして山側に倒れると安全だと言われています。起き上がる時はストックに体重をかけて、なるべく速く起き上がれるようにしましょう。

やはり I 段階で一番苦勞するのは滑りだと思われるので、スキー練習に行くのが I 段階合格への近道でしょう。平日にナイターに行ったり、計画のない休日に同期や上の人と練習に行くのもよいでしょう。冬本番になると近場のスキー場もオープンするのでどんどん秘密特訓に行きましょう。忙しくて練習に行けない人は I 段階にたくさん行って練習するのも良いと思います。

・冬山技術

(1) シール



シールには貼り付け式と取り付け式があり、歩く会の中では貼り付け式を使っている人が多いです。貼り付け式は接着面に雪がつくと粘着力を失った（「シールが死んだ」）状態になってしまうので着脱には注意が必要です。取り付け式はそんな心配はいりませんが登っているうちに緩んできてくるのでシールを締めなおす必要があります。シールの着脱が一番最後にやってくるCLより早く作業を終えることが合格の目安となっています。早く慣れるように頑張りましょう。

(2) ツェルト張り



I 段階の途中でツェルトというものを張ります。ツェルトとはテントのようなもので板とストックと軍手を使って張ります。ここで軍手を素早く出すことができると CL の評価が上がると言われています。なるべく早く手順を覚えて素早く張れるようにしましょう。ツェルトを張り、たわしでブーツについた雪を取って中に入ると、ラジウスでお湯を沸かしてお茶会が開催されます。ここで出す飲み物や食べ物でも CL の評価が上がるかもしれません。

(3) 飲食物

夏山では飲み物の外付けができましたが、冬山では凍ってしまうので飲み物の外付けは禁止です。食べ物もおにぎりは凍ってしまうので避けた方が良いです。飲み物と食べ物はザックの背中側に入れて凍るのを防ぎましょう。ちなみにスキー場は物価が高いので飲食物は事前におきましょう。

(4) 雪の上に物を置かない

雪の上に物を置くと転がって行った時に雪に埋まって見つからなくなってしまう。スキー板だったらどこまでも滑って行ってしまったり、ほかの人に当たってしまうかもしれません。そのため冬山では板やストックは雪に刺し、ザックの上に物を置くようにしましょう。また、ウェアのポケットに入れたりもするので、ウェアはポケットが大きいものを選びましょう。

(5) 服を濡らさない

服を濡らすと体が冷えて低体温症などにつながる恐れがあります。転んでもすぐに起きあがったり、服に雪がついたら出来るだけ払い落とすようにしましょう。

(6) その他

忘れ物をしないように注意しましょう。共同装備を忘れたら一発でアウトなので家を出る前によく確認しましょう。

ⅡS ネオパラ

誰でも1回は行くことになるだろう、手稲にあるフィールド。防虫剤じゃないよ。

手稲山ネオパラダイスコース

難易度、交通費(地下鉄とバスで行く)ともに親しみやすいところだと思います。

発寒南駅で他人の視線を浴びながらシールを装着してから行くのがなんか面白い。

もしも晴れていれば綺麗な雪の札幌市街が見渡せます

第一斜面、第二斜面、第三斜面という3つの斜面があり、第二斜面では時間があれば登り返して遊べちゃいます。

ここでは判定を気にせず思いっきり楽しみましょう。

自由に楽しく滑れるところがこのネオパラの魅力です

登りもあまり時間がかからないので、易しいコースだと言えます。

下りの最後では長い林道を高速で突破します。ちょっと怖いけど楽しい。

計画後は焼き肉屋「とんとん亭」に行きます。肉が食べ放題です。しかも安いです。

これを楽しみに、ネオパラへ行きましょう。

とんとん嫌いな上の人もあります。

とんとんに行くかどうか、例会で参加する前に上の人にちゃんと聞いておきましょう。

交通費、肉費がとっても美味しいのがⅡ段階・ネオパラです

文責

118 小喜茂別岳

札幌から車でちょっと行ったとこ

あの、あげいもの美味しい中山峠に、この小喜茂別岳があります。

登山口到着…え？ここ登んの(●^o^●)汗

工事現場横の急斜面に無理やり突入していきます。

登り始めたら早いもので、最初の不安はどこにやら

サクサク進んでいきます。

景色もよく雪質も最高！

広い斜面をシュワフワフワと滑りおりてきます。

気持ちがよいことこの上なし☆

帰りに温泉に寄れるのもまた小喜茂のよいところ。

笑いが止まりませんね。あはははははは

II S 新旧

正式名称を「迷沢山新旧送電線コース」という。

巨大な旧送電線の下を登り、新送電線の下を滑り降りる。

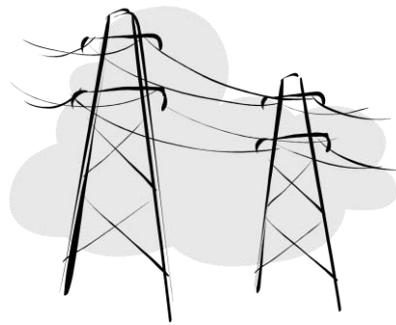
コースの長さはⅡ段階 No1、登りきった時の達成感もひとしお。

下りは木に邪魔されないので思い切り滑りを楽しむことができる。

テレマークスキーというクラシカルなスポーツの形態と、

鉄塔が生み出すコントラストが非常に美しいコース。

詳細は是非自分の目でお確かめを…。



文責： XXXXXXXXXX

Ⅱ s馬の背

馬の背は、Ⅱ sのフィールドの中では少し遠出。札幌から小樽行き的高速バスに乗ります。そして、高速上の「見晴台」というバス停で降りるのです。階段を下りて、滑らないように登山口に向かいましょう。

馬の背の魅力…？

縦走です！登山口と下山口が違うので、同じ道を上って、すべる他のフィールドと違って、異なる道を進んでいくので、雪山、白銀の世界をプチ・トリップした気分になります。雪山登りが好きな人（山女（2）や文書いている人みたいな人）にはお勧め？

そして、他のスキーヤーにほとんど会わないことも、馬の背の魅力。天候不良だと、怖いので、行きたくありませんが。。。

縦走なので、多様なコースを味わうことができます。林道、沢沿い、尾根から、一度平地にすべりおり、”マッシュルーム”の間を登っていくと、銭天が見えてきます。混交林を進み、針葉樹林をいき…っていわれてもつまらないですね。とにかく、植生の変化はなかなか面白いのさ。

「馬の背」を登りきると札幌の近くとは思えない景色が…？

やっと、滑れますね。馬の背は、いかに楽しく、気持ちよく滑るか考えるのを楽しみましょう。まあ、行ったらわかります。少し苦勞してくれるとかわいいんですけど。

最大の魅力なのか、嫌いかは人によりますが、ゴルフ場を滑っちゃいます。それこそ、白銀の大地だよ～

最後の難関が、板を脱いだあとのトンネル。君はこけずにくぐり抜けれるか？

下山後は御蕎麦を食べましょう。「大盛りそばの大盛り＝特盛」を食べてこそ、馬の背マスターです。おなかすかせて行こうね。

ⅡA 春香山

春香山…それは歩く会を語る上で欠かせないものの一つに上げられる存在である。歩く会では、新歓山行に始まり、年度末の上級生山行まで年に何度も春香山に登る。皆歩く会にいる間に、一度は登ることになる山ではないだろうか。

そんな春香山には他の山にはない大きな魅力がある。それは、広い斜面と長い林道の両方が存在し、眺めも良いので、誰でも楽しめるということだ。実際に45周年のときに歩く会OBの方に伺った話では、今でも毎年のように誘い合わせて春香山に行くとのこと。更に春香山はⅡ段階唯一の泊まり計画で、Ⅲ段階に近いものを味わえることも特徴の一つ。

また、春香山は歩く会の山スキーヤーが一堂に会する数少ない機会なので、ぜひ参加して欲しい。もしかしたら、それまで会ったことのない山スキーヤーに会えるかも。



チセヌプリⅢS

木のない雪面を堪能できるが、途中までスキー場のリフトがあるというなんともおいしいフィールド。Sなのでサブザックで行く日帰りですが、ニセコであるため下界でバンガロー泊などをします。

視界がよければシャクナゲ岳や、ニトヌプリ、イワオヌプリ、アンヌプリ、羊蹄山などが見えてきれいです。

落とし物注意 w



ⅢS 塩谷丸山

また塩谷丸山の紹介を書くことになってしまった。同じ人間が同じ山について同じような紹介をしてもつまらないので（本来山スキー春香は一年生向けではあるが）なるべく去年とかぶらないように心がけて書くことにする。でもまあ基本的に内容は去年と同じです。

さてこの塩谷丸山、三段階なので樹林限界を上回る。具体的には台地上から木がほとんど無いという状態なのだが一気に視界が開けてなかなか爽快である。Peakからは海と街が見え、非常に眺望が良い。新歓山行などで感銘を受けた人も少なからずいるはずだ。一度歩いて登った山を今度はスキーで登るのもいいかもしれない（夏道と冬道は違うけど）。

また滑りに関しても木の無いPeak付近は登り返しが欠かせない。かといって台地より下はつまらないかと聞かれればそうでもないと答える。斜度があり、木があり、穴があり、非常にスリリングな滑りが期待される。きっと滑り終えたときには山スキーヤーとして一つ成長しているはずだ。

このように魅力たっぷりの塩谷丸山、繰り返すが三段階である。木が無い＝風をモロに受けるので防寒をしっかりとしなければ寒いし、怪我にも十分に気を付けよう。なんかホントに去年と同じ内容になってしまった。なので去年の山スキー春香とは見比べないで下さい。今年も塩谷丸山には行けたら行きたいです。



III s 百松沢山

うーんと...百松沢山ねえ...正直言ってあんまり覚えてないんだけど。なんかねえ百松にはコンセプトがあって、「会いに行けるアイドル！AKB48!!!!」みたいな。たしか「ザッテルのその先を見てみないか」的な感じだった気がする。でもうちザッテル行ったことないし、そこはあんまり魅力に感じてなかったかな(笑)。確かねえ、コースがすごい長くて、めっちゃキツかった気がする。のは気のせいかな？うんでも終わってみると楽しい思い出の方が多いよね。やっぱ、ほいじゃ説明していきましょか。登山口はなんか工事用のゲートっぽいアシです。春休みの平日に行くトラックのいかり運ちゃんにめっちゃ邪険に扱われませぬ。ご注意あれ。んでさー駐車場がちょっと遠いんだよね。そこがちょっとネック。登り始めると、最初のうちは平坦な道で余裕な感じですよ。どんどん登って行って沢を登って行ったような...そこらへんで弱テします。多分。てか話変わるけど G ケンの弱テって見たことある？めっちゃせくしーだよ。ブリブリ星人みたいだよ。今度機会があったら見せてもらったらいいよ。はいはい話を戻そうね。なんだっけ。そうそう、んで弱テが終わったらへんから急に斜面がきつくなるんだよね。ザッテル行ったことがある人はわかると思うけどさ、ザッテル斜面の前の登りって超ツラくない？うち吐くかと思ったんだけど。え。うちだけ？まじか。そこを登りきるとやっとなら斜面だよ。II s ザッテルはたぶんここで帰るんじゃない？百松はここでちょうど半分くらいだっけ。長っ。その後はひたすら樹林内を登っていく感じ？めっちゃ木が多くてさ、雪もがりがりしてさ、シールもなんか弱ってくるしさ、ここですごいテンションが下がったわー。ひたすら登っていくとちょっと開けた場所に出るんだよね。そこから住宅街が見えてなんか「ここまで来たかー」とか無駄に感動して無駄に景色を写真に収めちゃったよ。帰ってからデジカメ見直してなんでこんな写真撮ったんだろううち...みたいな。んでまだまだ登って行くと、そろそろピークでしょって時にそれらしきポコが出現するんだよね。まー実際はこのポコは巻いて行くんだけどさ。でさー「やったーもうすぐピークだぜー」とか喜んでたら GPS という現代的かつ都会的、それでいてかわいらしさも併せ持った代物をお持ちの N 西さんに「ここピークじゃないよ」という有り難いお言葉をいただいて。ちっ。みたいな。うそですすいませんすいません。でもそれすぎたらすぐに N.P. につくよ。たしか。ここで N 西さんがおっしゃった一言はあまりにも有名ですね。「いってみよーかどー.....ちがうちがう。「ここが N.P. すなわち、ナカニシ・ピークと名付けよう。」どーーん。さっすが N 西さん☆☆☆☆☆☆百松には N.P.の先にもう一つ S.P.っていうピークがあるんだけどさ、去年は雪庇がものすごい勢力を誇っておりまして、行けなかったんだよねー。なんか 6 年前に出された時も S.P.へはつぼ足で行ったんだっけさ。なんかすごいよねー。下りは登りのトレースを辿って行く感じだから、あんまり遊び斜面とかはないんだよね。まあでも上級者の方がたは地味なポイントを見つけて楽しんでいらっしやったので、楽しく滑れるかどうか自分の腕試しになるんじゃない？なんていったって、あの O 西さんがこけて木の根っこに突っ込んでいらっしやいましたからね。あれは去年一番のコケっぶりだったのではないのでしょうか(当社比)。ちなみにうちは全然滑れなかったけど、唯一ザッテル斜面が楽しかったなあ。何回も登り返して滑っちゃう感じですよ。ザッテル斜面以降はもはや一瞬だよ。すぐ。ほんとにすぐ！たぶん。てか、なんかこれネガティブキャンペーンになってない？大丈夫？散々書いといてなんだけど、百松沢山の魅力は長さで景色だと思ふよ。ながーい登りは P らちゃんみたいな「あたし山スキーって登りの方が好きなんだよねー」ってド M 人や「ザッテルで帰るだけじゃもの足りん！」て人にはたまらないのではないのでしょうか。あと、去年は天候が悪くて景色があんまり見えなかったけど、晴れていたらピークから札幌近郊の山々がぐるーっと見渡せるらしいよ。あら魅力的～。毎年出るかどうかはわからないけど、もし計画が当たって行ってみる価値ありですよ～(ˊˋ)。



ⅢA 無意根山

無意根山はⅢAのフィールドです。歩く会山スキーで登るなかで一番標高の高い山がここ無意根山で、標高は1464mです。無意根山がどこにあるかご存知ですか。定山溪から国道を少しのぼったところにあります。なんで中山峠に行ったことあるなら登山口は通ってますよ。

登山口からは林道を進んでいきます。長い林道がジグザグジグザグ九十九折れとなって続きます。時間があれば途中にある沼の上にたつてストックで穴を掘るのも楽しいですよ。そんな林道は宝来小屋まで続きます。写真の通り雪に埋もれちゃってるので、中に入って休むってことはできないので、小屋の上に乗って遊ぶ程度にしましょう。さて、宝来小屋を過ぎればようやく林道もなくなり山の中を進むことになります。地図とコンパスをフル活用して進んでいきます。そうして到着するのが「無意根尻小屋」という立派な一日目に泊る小屋です。



二日目に目指すはピーク。歩く会では去年5、6年ぶりにピークを踏んだことができました。ピークを踏むのが難しい強敵な山なんです。ですが、ピークに着けば待っているのは木など全く生えていないとっても大きな斜面、大斜面と西斜面。特に西斜面は天候に恵まれなければ行けない山スキーヤーの憧れの斜面です。去年は西斜面には行けなかったのもう幻の西斜面ですね。

そして最後に山を下りてから向かうのは、なんと超高級旅館「吉兆」。CL一人で中に入って電話をお借りするのはきっと心細いので、みんなで応援してあげましょう。

文責

III A 札幌岳

豊平峡温泉の南西に存在するらしいそのフィールド…夏季には札幌縦走という札幌岳から空沼岳へ縦走の前半ともなる(今年はお出なかったが…)。冬と夏ではだいぶ印象が違うと思うので機会があれば見比べてみてください。III A の計画の中では比較的簡単で、1年目でも行きやすいでしょう。ただ、残念なことに1年目ワンデとかぶり易い時期(3月の半ば)にできる計画なので行ける人はかなり限られるだろうな…¹

そろそろ、本題へ。登山口から冷水小屋までは基本沢浴いを歩いていきます。単調な道で景色も変わらないので苦痛です。谷地形だから仕方ない…沢浴いなので何度か橋を渡ります。その中にはスノーブリッジも。暖冬とかでなければ落ちることはないので心配はいらないでしょう。途中大きな林道と交差し、てくてく歩いて行くと冷水小屋へ。小屋はII A の春香よりは小さいですが快適です。小屋裏も滑れるらしい。

ここで一旦荷物をアタックからサブに切り替え、Peak へ。この先もしばらく沢浴いですが、最初にいきなり滝。斜度がきつくてたいていの方はここでシートラ²して、つぼ足³で乗り越えます。頑張る人は板を履いたまま登るとか…滝を越えると北海道 No.1(?)の「ルスツの壁」というなんかすごい斜面が待っている⁴。この斜面を登ると稜線上にでる。稜線上は周りを遮るものが少なく、晴れば景色は素晴らしいようだ。ただ、遮るものが少ないということは吹雪が直接我々に襲いかかるという恐ろしさもある。III A の名は伊達じゃない。このあと、なんかすごい斜面で楽しんでから小屋へと戻る。余力があれば小屋裏でも楽しめるかもしれない。

たぶんこの説明じゃ参考程度にもならないだろう。だからって怖気づくなよ。フィールドに出て自分の目で真実を見極めてくれ。行けばきっと損はしないから…⁵

¹ 行けるなら1年目ワンデに行った方がいいかもしれない

² 板を担いで持つこと。ザックにくくりつける人もいる。

³ 普通に雪の上を歩く。非常に歩きづらい。少しの距離でもはいた方が速く動ける。ここでは脱ぐしかない。

⁴ 去年は雪がもったりしていてよくわからなかった。

⁵ 帰りに豊平峡温泉にも寄れるしね!

ⅢA 奥手－ONZE縦走

山スキー段階制の最上位区分となるⅡAに無事合格したら、その権利を活かして是非行って頂きたいのがこの「奥手－ONZE」。札幌国際スキー場近く、奥手稲山から春香山を越えて最後は小樽のONZEスキー場へと出る。

山スキーでは珍しい縦走計画で、最長となる二泊三日。

初日の魅力はなんといってもユートピアゲレンデ。山奥にも関わらず、かつて照明が設置されナイトスキーが楽しめたとかいうので、上手い具合に開けているのが素晴らしい。

小屋においても、今は珍しい石炭ストーブで、他にはない山深い小屋の魅力というのがある。まさに「山の家」のその名に相応しい。

二日目、みんな大好き春香山は「銀嶺荘」。コーヒー飲み放で枕付き二段ベッドが魅力のこの山小屋は近くのピークの斜面・景色もトップクラス。春香単体の計画もあるが、小屋までのルートは異なるし、それぞれ違った魅力があるので両方行ってみては。

長い行程を終えて三日目はいよいよ下山。下山地はスキー場のはずれ、樹林の中から出てきた私たちには熱い視線が注がれる事間違いなし。その後、アタックを背負った状態で一般客の合間を縫ってスキー場を滑走する。

縦走という長い計画なので途中キツイ事も何度か（いや、何度も・・・？）あるだろうけれど、この計画の魅力はそこでもある。縦走を乗り越え、その後、計画を振り返ったときがまた楽しい・・・んじゃないかな。



～2年目紹介～

五十音順でいってみよォー。

○■■■■

■■■■。最近、金遣いが荒いことで何かと噂。この間は新しい板を買ったってニヤニヤしていたよ。肝心の滑りはと言うと…絵に描いたようなテレポジで安定感抜群。でもたまーに■■■■と共に暴走したりもするんだよ。自慢のカメラで常にシャッターチャンスを狙っているから気をつけて。

○■■■■

■■■■。特に山派ってわけじゃないのに、実は山スキーヤーなのだよ。スキー未経験だけど、体力ないけど、お金ないけど…って？そんなの心配いらんさ。きっと親切な先輩方がどうにかしてくれるよ。だってどうにかなったもの。とは言うものの、まだまだ初心者だからいじめないでね。

○■■■■

■■■■。生粋の道民。だって道民だもの。去年は多忙によりあまり計画に参加できなかったみたい。でも、今年はきもいくらいに力を発揮してくれるはず。最近■■■■を超えるスペシャルなカメラを買ったらしいから、こっちにも注意が必要だね。雪合戦を仕掛けると喜ぶよ。

○■■■■

■■■■。4年生だよ。大人の事情で最近来てないけど、そろそろ暇になるらしいから冬の活躍に期待大だね。こっちも道民。寒さなんてへっちゃらさ。ちっちゃいけどパワフルな頼れるお姉さんだよ。山スキーのことに限らず、何か困ったら相談してみよう。ありがたい大人な意見をいただけるかも。

○ [REDACTED]

[REDACTED]。関西弁を操るおちゃめな山男。寝てたと思ったら走り出し、止まったと思ったら転がる。基本的にスピード狂。でも本人曰く、スピード調節ができないだけらしい。今年は新しい板とブーツも買って、やる気満々。観察していると面白いからとにかく一緒に計画に行ってみるといいと思うよ。

○ [REDACTED]

[REDACTED]。最初から素晴らしい滑りを見せつけ、先輩からは可愛くないと評判だったよ。さすが山の住人だよ。まぶしいよ。独特の口調でみんなをなだめる姿はなんだかママみたいなんだ。みんなて慕ってあげよう。きっと喜ぶから。ねえママ、ケーキが食べたいよ。

○ [REDACTED]

[REDACTED]。スキー初挑戦だったにも関わらず、山の経験値とポテンシャルの高さで、出る計画には全部参加するぐらいの勢いを見せていたよ。冬の終わりにはもう貫禄すら見え隠れしていたよ。今年もガンガン活躍してくれるってさ。手作りお菓子の美味しさには定評あり。

やっつけ 3 年目紹介

まず最初に断っておきますが、今回の 3 年目紹介は、新山スキーヤーへの情報として全く役にたちません。でもまあ、3 年目山スキーヤーはみんな有名な人だから紹介するまでもないでしょう。ということでやっつけ仕事ですが、3 年目も含めて、怒らないで最後までお付き合いください。

_____、通称 _____。現在 HUWA の中枢システムの統括を担うハイスpek的な人工知能。主なエネルギー源は“ういろ”で、特に青柳本家の純正ういろとの相性が良い。そのパフォーマンスは積雪地帯のような寒冷条件下でも衰えず、むしろ向上するのが特徴。パフォーマンスを最大に発揮している際には、ぜひ無茶をさせてみることを勧める。

学名：_____。Saitama 原産の木本植物。環境ストレスに対する耐性が強く、熱帯から寒帯まであらゆる環境で生息できるので、多くの地域で安定した資源供給を担っている。通常、水分の補給は他の種と同様に行うが、アルコールを含んだ混合水を与えると合成系と代謝系が活発になることが報告されている。また、雨雲を発生させやすくする揮発性ガスを産生した事例が何件か報告されており、現在調査中である。

_____。恵笛の森の奥地にそびえる標高 2000m 級の単独峯。恵笛の森はその異様な生態系から調査が進んでおらず、_____も最近になって発見された。この_____でもすでに 30 の調査隊が行方不明となって調査が難航しており、現地という言葉で Kuigoku(大喰らいの意)と恐れられている。また、現地の伝承によると、普段は出不精な_____の精は、雪が降る頃に雷鳥とともに下界に降り立つといわれており、記録では、ふくよかな笑みを湛えた係長の姿で描かれている。

学名：[REDACTED]。Mie 原産。生ぬるい環境を好む小型の動物。夜行性で夕方～夜にかけて行動するが、基本的にはエネルギーを温存するように活動する。最近では、芋けんぴを与えると黙々と仕事をする事が報告された。社会性の生活様式から、イヌ科との近縁性が示唆されており、先日、野生の仲間を見つけると群れに混ざって行ってそのまま野生化した。

学名：[REDACTED]。Saitama 原産で1属1種の Domesticated animal。正確は温厚だが、人見知りするのでうまく接するには慣れが必要。アイスクリームが好物で、これを使えばある程度は警戒をとくことができるかもしれない。また、理由は不明だが稀にチーズやチキンを抱えていることがあるので、見かけたら近付いて頂戴してしまおう。HUWA の中ではフラッグシップ種で、現在は保護活動が進められている。

橋専門の土木建築ロボット [REDACTED] type SZK。プロフェッサーKANI に作られた正義のロボット。みんなの喜ぶ顔が見たくて、今日も明日も橋をかける。動力源はいわずもがな、たこ焼き。必殺技は熱々のたこ焼きを相手の口に捻じ込んで火傷させる“たこ焼きファイヤー”。そんな彼の夢は、いつか、世界の主食をたこ焼きにすること。たこ焼きこそが世界一、たこ焼きこそが生きる道と、今日も明日も彼はたこ焼きを焼き続ける。

[REDACTED]

4年目紹介

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

移動: [ナビゲーション](#), [検索](#)



このページは[荒らし](#)を理由として[方針](#)に基づき、新規ユーザーおよび未登録 (IP) ユーザーによる[編集が禁止](#)されています。
[半保護を解除しても問題ない状態](#)になった場合、[半保護解除を依頼](#)してください。

4年目紹介 (4nenme.sho-kai)とは、4年目の山スキーヤーを紹介するページである。

目次

[\[非表示\]](#)

- [1 主な特徴](#)
- [2 人物紹介](#)
- [3 関連項目](#)

主な特徴

多くの4年目に共通する特徴を、以下に掲げる。

- 基本的に、計画に顔を出すことは稀だ。
- 後輩に話しかけられると、結構喜ぶ。
- 年寄りなので、体力が乏しく、記憶力も当てにならない。
- 無駄に経験を積んでいるので、道具の扱い等全体的に説教臭い。

人物紹介

太板と後ろ滑りの貴公子。今年には行かない宣言してるが、なんだかんだで…を期待。

Mr.ポテンシャル。昨年から長期休暇中。次会うときには「痩せたね」と言うが吉。

昨年の山プロリーダー。参加率と技術力に定評があるが、愛板の Design は酷評の嵐。

紅一点。将来との格闘により長期休暇宣言。でも、また例会には来るんじゃないかな。

眼鏡。昨年は就活を理由に休職してたが、実はグレンデには行ってた屑。今季未定。

この先会うのが非常に難しいと考えられるスキーヤー

※加齢につれて執筆者の記憶が欠如してきたため、割愛。執筆及び編集依頼する。

関連項目

- 「2008～2009 年度山スキーはるか」
- 「2008～2010 年度新歓はるか」

人物の詳細を知りたい場合、上記の書類を参照することを推奨する。



この「4年目紹介」は、[歩く会山スキー](#)に関連した[書きかけ項目](#)です。[加筆、訂正](#)などをして下さる[協力者を求めています](#)。

[カテゴリ](#): 北海道大学 サークル/歩く会/山スキー

文責 

Hokkaido University Walking Association

PRJUB